

北海道COC+事業の概要と活動

2019年10月



COC+事業の概要

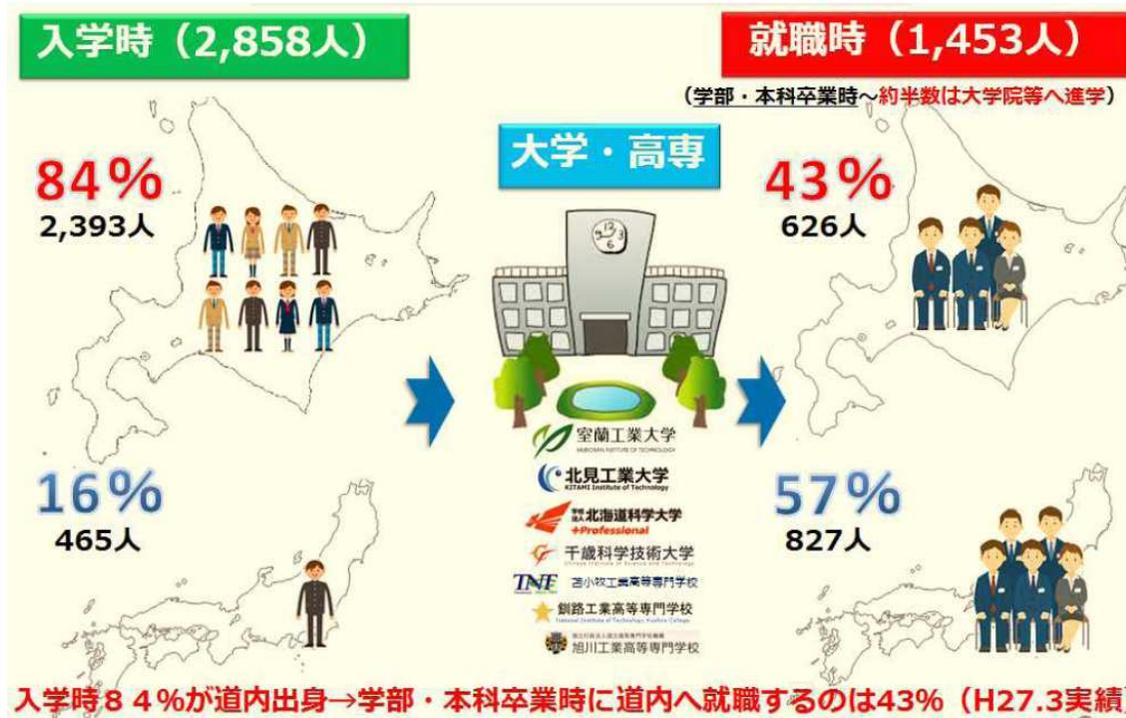


文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」 ～地(知)の拠点COCプラス～

事業名称	地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)	地(知)の拠点大学による地方創生推進事業
事業目的	地域のニーズと大学のシーズ(教育・研究・社会貢献)のマッチングによる地域課題の解決	地方の大学群と、地域の自治体・企業やNPO、民間団体等が協働し、地域産業を自ら生み出す人材など地域を担う人材育成を推進
最終目標	地域再生・活性化の核となる大学の形成	若年層人口の東京一極集中の解消
申請要件	<ul style="list-style-type: none"> ①全学的な取組としての位置付けを明確化(学則等の位置付けなど) ②大学の教育研究と一体となった取組(全学生が在学中に一科目は地域志向科目を履修) ③大学と自治体が組織的・実質的に協力 ④これまでの地域との連携の実績 ⑤自治体からの支援の徹底-マッチングファンド方式- 	大学COC事業の要件に以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> ⑥自治体の教育振興基本計画や申請内容に係る自治体の基本計画等への申請大学の役割の記載 ⑦地域の複数大学、中小企業やベンチャー企業、NPO等との連携
成果指標	取組に対する連携自治体の評価	連携自治体にある企業等への就職率・雇用創出数 取組に対する連携自治体及び中小企業等の評価
予算	平成26年度 34億円 平成25年度 23億円	平成27年度予定額 44億円

北海道COC+事業の概要

平成27年度より平成31年度までの5年間、室蘭工業大学を幹事校とする北海道COC+事業に北海道科学大学が他大学・高専とともに参加



<参加校>

室蘭工業大学
北見工業大学
北海道科学大学
千歳科学技術大学
苫小牧高専
旭川高専
釧路高専
函館高専

道内拠点の役割と連携

- ▶ 各地区はそれぞれの特性に応じた活動を展開する
- ▶ 大学・高専と自治体は協働で、当該地区の事業計画を作成、実行する
- ▶ 事業の達成に向け各地区は周辺地区の自治体・企業等とのネットワークを構築する ⇒ 道央ものづくりクラスター、農水工連携クラスター



地（知）の拠点	大学・高専	自治体
● 室蘭地区	室蘭工業大学	室蘭市
● 北見地区	北見工業大学	北見市
● 札幌地区	北海道科学大学	札幌市
● 千歳地区	千歳科学技術大学	千歳市
● 苫小牧地区	苫小牧高専	苫小牧市
● 旭川地区	旭川高専	旭川市
● 釧路地区	釧路高専	釧路市
● 函館地区	函館高専	函館市
全道	全大学・高専	北海道

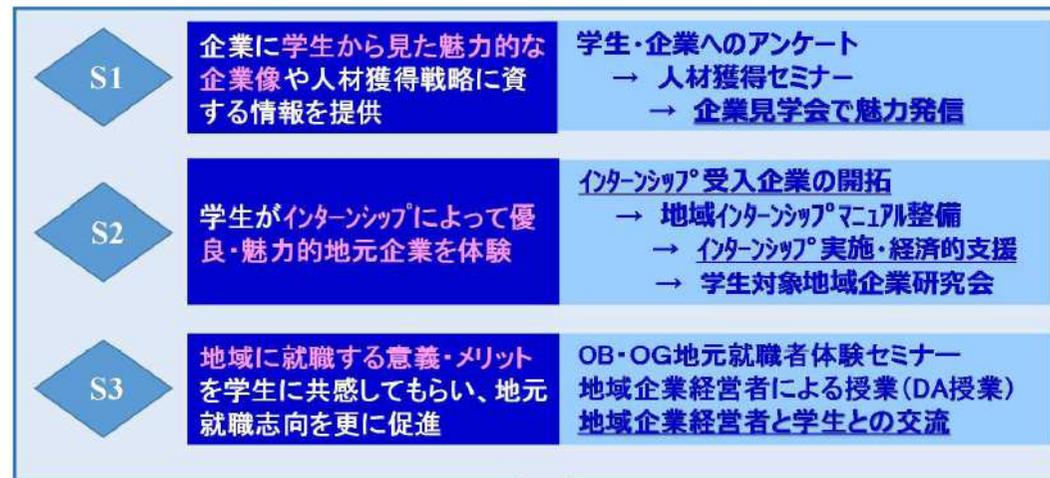
北海道COC+の活動

【地元就職支援】

地元企業と学生とのミスマッチ解消戦略 (事業3/目標2-①)

道内企業の課題：多くの学生の採用の採用を希望しているが、「道外企業に学生が流れていき採用が確保できない」

マッチング戦略：道経連・道商連・中小企業家同友会他と協働し、企業と学生のマッチングを戦略的に実施し、地域就職率を向上させる



北海道COC+の活動

【地元就職支援】

企業と「学生のマッチング」「教員との交流」(事業3/目標2-①)

【インターンシップ学生アンケート】

学生にとってのインターンシップは就職先を意識

就職で重視する項目は職場環境と職種

地元企業と学生とのマッチング施策

多くの採用活動イベントを実施・参加できる環境づくりが必要(企業への対応)

学生にワークライフバランスの教育や地元の良さを発見してもらう(大学・自治体の対応)

【企業アンケート】

採用活動イベントは実施種類を重ねるほど効果が期待できる

採用活動イベントを実施していない企業が1/4程度ある
⇒ほとんどが規模の小さい企業

採用活動イベント：個別説明会、合同説明会、インターンシップ、職場見学会

企業・学生アンケートから明らかになった今後の施策



若手社員と学生の交流・ワールドカフェ
(北海道科学大学)



OBのダイレクトアクション授業
(釧路高専)

本学の活動例(一部)

北洋銀行ものづくりテクノフェア
ビジネスEXPO見学およびミニ
セミナー実施(札幌市連携)



札幌市内IT企業見学バスツア
ー(札幌市・北海道銀行連携)

